

岐阜新聞

2016年(平成28年)2月24日 水曜日 9

県の補助金
制度第1号

I A M A Sと連携

名古屋のキャリオ技研

ソフトピアに 本社機能移転

キャリオ技研株式会社・大垣
市本社機能移転に関する協定締結



本社機能移転に関する協定を結んだ
(右から)富田茂社長と小川敏市長、郷
敦県商工労働部長=大垣市役所

情報サービス業のキ
ヤリオ技研(名古屋市
中村区)は4月、大垣
市今宿のソフトピア
ヤパンドリーム・コア
に本社機能(研究開発
部門)を移転させる。

3次元CADデータを
活用した画像認識の研
究などを進める。これま
で各務原市のテクノプラザで研究開
発、子会社がドリーム
・コアに入居している
縁もあり、ソフトピア

内にある情報科学芸術
大学院大学(IAMA
S)との技術連携も図
ろうと移転を決めた。
県の本社機能移転促
進事業補助金制度の第
1号で、県から賃借料
の半額が5年間助成さ

れる。市も独自のソフ
トピアジャパンエリア
小規模事業所入居支援
事業補助金で、経費8
万円を助成する。県が
昨年4月に企業誘致課
内に設置した本社機能
移転サポート窓口を活
用し、移転が実現した
3例目で、大垣市では
初めて。同市役所で開かれた
本社機能移転に関する
協定締結式では、富田
茂社長が「新規事業で
雇用を創出し地域に貢
献したい」と意気込み
を語った。小川敏市長
が「事業の成果を上げ
大きく発展してほしい」と述べ、県の郷敦
商工労働部長とともに
移転を歓迎した。